

本日告示！ 六ヶ所村長選挙 山田きよひこ いざ出陣！

六ヶ所村長選挙応援に感謝……立候補者 山田清彦

六ヶ所村は小さな村ではありますが、全国で唯一の核燃サイクル施設があり、再処理工場竣工が計画されています。青森県行政はその後押しをしています。

だが、原発があって有難いと言っていた福島県民が、事故が起きた後は反原発に舵を切りました。六ヶ所再処理工場で大事故が起きたら、青森県行政すら反原発・反核燃に変わるでしょう。但し、ここで言う大事故は、想像を絶する規模であり、起こしてはいけません。

まずは再処理工場の建設計画をストップさせるために六ヶ所村長選挙で反再処理を訴えます。

皆さんの御協力に感謝し、最終日までの選挙戦をしっかりと闘っていきます。

6月7日午前9時 第一声演説（六ヶ所村役場前）

司会：荒木茂信（六ヶ所村の新しい風 共同代表）

【選対本部あいさつ】

鳴海清彦（六ヶ所村に新しい風をおこす会 会長）

【激励のごあいさつ】（敬称略）

1. 今村修（社民党青森県連合 代表）
2. 畑中孝之（日本共産党青森県委員会 委員長）
3. 浅石紘爾（核燃サイクル阻止1万人訴訟原告団 代表）
4. 奥村榮（青森県労働組合総連合 議長）
5. 阿部一久（青森県平和推進労働組合会議 議長）
6. 種市信雄（核燃から漁場を守る会 代表）
7. 菊川慶子（花とハーブの里 代表）

【候補者あいさつ】

山田清彦

※ 当日、都合により参加できなかった方々の連帯のメッセージを裏面に掲載しています。

六ヶ所村長
立候補者

山田
きよひこ



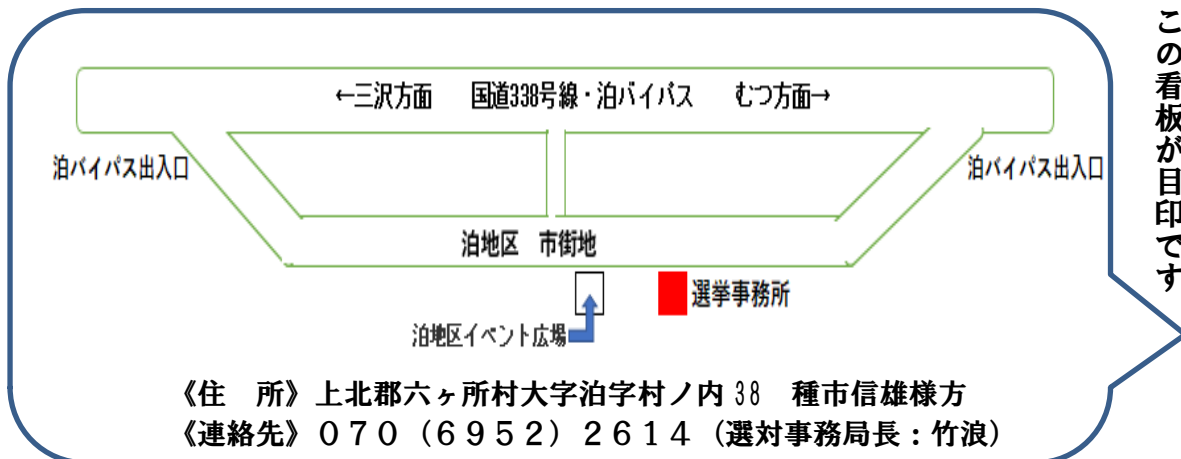
ボランティアのお願い

○証紙貼りについて

山田選対では、法定1号チラシ3,000枚、2号チラシ2,000枚を発行し、新聞折り込みや候補者演説の際に近辺で配布を行うことにしました。しかし、チラシを配布するためには、選挙管理委員会の証紙を貼らなければいけません。この作業を早急に行う必要があります。貼る人数が多ければ、一挙に終了できますので、是非、ご協力をお願いします。

ポスター貼り終了後でも、証紙貼りにご協力いただける方は、山田清彦選挙事務所にお立ち寄りください。（昼食の用意あります）

選挙事務所のご案内



《住所》上北郡六ヶ所村大字泊字村ノ内 38 種市信雄様方
《連絡先》070 (6952) 2614 (選対事務局長：竹浪)

この看板が目印です

止めよう再処理



六ヶ所村長立候補者
山田きよひこ
選挙事務所

未来の子供たちに安全で豊かな暮らしと自然を！止めよう再処理！

当日、都合により参加できなかった方々の連帯のメッセージです。

元衆議院議員 升田 世喜男さん

明日への希望が見えず、不安だけが蔓延している。ロシアによるウクライナへの侵攻は世界を恐怖に陥れ、あらためて平和の尊さ、そして普通の幸せの重要性を実感します。

「命と暮らしの安心」が今ほど求められている時代は無いのではないのでしょうか！

山田清彦氏の決断には心より敬意を表します。この度の闘いに勝利することをご祈念申し上げます。



青森県議会議員 鹿内 博さん

六ヶ所村の皆さんの力を活かし、核燃に頼らない村づくり実現のために勝利されることを心から祈ります。



青森県議会議員 渋谷 てつかずさん

福島原発事故、そしてウクライナへのロシアの侵略は、原子力が人類と共存できないエネルギー源であること、また、世界中で持続可能な再生可能エネルギーの転換が積極的に進められていることは、山田清彦さんが訴え続けている「核燃に頼らない村づくり」が、六ヶ所村の未来を創るための政策として必要不可欠である事を私たちに訴えています。

青森県が進める六次産業化を、これからの六ヶ所村の基幹産業とし、県立六ヶ所高校での人材育成を行い、共に未来を切り拓いていきましょう。地域の皆様と共に、新しい六ヶ所村を築いて下さることを切に願い、必勝をお祈り申し上げます。



市民連合あおもり事務局長 堀 幸光さん

市民連合あおもりは、六ヶ所村長選挙の告示日にあたり、村政転換の決意に燃えて奮闘している山田清彦候補に心から敬意を表します。

25回も操業延期の再処理工場。失敗した高速増殖炉。全国どこも行き場のない核のごみ。すでに核燃サイクルが破綻していることは明らかです。そのうえ、ロシアのウクライナ侵略で、原発を攻撃し、軍隊が占拠した現実は、戦争が起きれば「原発は核兵器」になりうることを示し、全世界を恐怖に陥れました。戦争や軍事攻撃を想定せず、備えもない日本の原発・核燃施設。それでも岸田政権は、ロシアの戦争を利用して、戦争への準備と、原発再稼働・核燃推進を加速させようとしています。断じて許されることではありません。

この危険な現実を村民に説明するのが村長の仕事ではないでしょうか。これは戸田村長には手に余る仕事で、できるのは山田候補しかおりません。山田候補は、再処理を中止し核のごみ問題の片づけに着手し、農漁業の発展や新エネルギーへの産業転換の選択肢を示しています。

この訴えが多く村民に伝わり、共感を呼び、支持が大きく広がる村長選にしようではありませんか。

「小さな村の大きなたたかい」…今回の村長選挙が、六ヶ所村の歴史に新たなページを拓くことを願ってメッセージとします。ともに頑張りましょう。



祈
当
選

大開とわたしたち未来をつくる会
南館市 野村保子

為
山田清彦殿

祈
必
勝

高槻市 水戸喜世子

前回お知らせした以降に届いた為書です。

山田きよひこ★6つの約束(抜粋)

① 核燃サイクルは破たんしており、再処理中止を求めます

「もんじゅ」中止の今となつては、六ヶ所再処理工場の必要性はありません。六ヶ所再処理工場は 25 回目の竣工延期が確実な状況ですが、まずは再処理事業の中止を政治の場で決定し、後始末の廃止措置を徹底的に行うことを求めていきます。

また、既に管理している各種の放射性廃棄物についても、現世代の責任と捉え、どのような方法で管理すべきか、発生源である各電力会社と検討を行うことを国に求めていきます。

② 原子力防災範囲の 30km への拡充を求めます

③ 地域の特性を活かし、農業の 6 次産業化推進による農家所得の向上と安定、雇用創出を図ります

④ 村内の漁獲物のブランド化をめざします

⑤ 心と体の健康づくりを推進し、村営の介護入所施設を整備します

⑥ 三内丸山に匹敵する村内の縄文遺跡群を村起こしに活用します

オフィシャル
ウェブサイト

